

あの公文さんがやってくる！

参加費
無料
定員50名

農福連携を大いに 語ろう



2024年

3 / 23 土曜日

13:30~16:00

会場 渭南病院 8階 いなんホール
土佐清水市越前町6番1号

お車でお越しの人は市役所の駐車場にお停めください

講演会テーマ

連携こそが、清水を変える！



講師：公文一也氏

高知県安芸福祉保健所 健康障害課 主幹

自殺対策を多職種・多機関連携で取り組みの産物である「農福連携」の推進を担当している。

今では高知県東部市域では、100名近くの生きづらさを抱えた方達が農業等に従事している。

農福連携は生きづらさを抱えた方の生きがいになり、働くことで収入を得て、生活の質の向上につながった。

またこの取り組みは結果的に「労働力不足の解消」となり、地域農業の維持や活性化にもつながっている。

今後も農福連携の拡大に取り組んでいきたいと考えている。

13時30分～14時30分

講演 「農福連携を語ろう！」

農福連携を始めたきっかけから現在までをお話いただきます

14時40分～15時40分

トークセッション 「清水でみんなで考えた」

当地でどんな連携ができるかをみんなで話し合います

15時40分～

アンケート・閉会

お申し込みは裏面から

主催：医療法人聖真会 渭南病院 理事長 溝渕敏水
後援：土佐清水市

ご質問等は渭南病院 担当の石川まで 080-5180-3335

講師紹介 公文一也氏 (安芸福祉保健所 主幹 自殺対策担当)

来る3月23日、安芸福祉保健所の公文一也氏(作業療法士)をお招きして、土佐清水の「これからの地域福祉」を考えるセミナーを開催します。

そこで公文さんのことを皆さんよりは少しだけ詳しく知っている私からご紹介します。



公文 一也 氏

安芸市における「農福連携」の仕掛け人。

見た目は怖い(苦笑)人間愛に溢れた人です!

私が公文さんにあったのは農福連携が高知県を席卷し始めたころ(2019年)で、もその考え方に共感して、香美市にて農福連携の活動を始めました。

その後、公文さんたちと一緒に「こうち絆ファーム」を立ち上げ、数カ月ですが管理者も務めました。

私がこの農福の就労継続支援事業所の管理者をしていた時も、障がいがある人だけでなく、ひきこもり経験者や生活保護を受けている人も来て、作業を行い、誰もが少しずつ元気になっていきました。

特に数年間口をきいたことが無いひきこもり男性が、2か月後ぐらいには楽しそうに作業をして、少しでも声も聴けて、工賃をもらうときに嬉しそうにしている様子を見た時は、このような人を、医療だけでなく「福祉と地域の連携」で支えることができるという事実に気付きました。

公文さんから「農業×福祉」を進めてきたご経験、「農福連携」が起こした地域の変化などをお聞きすることは、今後の土佐清水に必ずいい効果をもたらすと考えます。一人でも多くの人と一緒に、公文さんのお話が聞けたらと思います。

渭南病院 事業開発室 石川智

お申込の方法

以下の3つからお選びください

- **お電話** 080-5180-3335 以下のことを教えてください
- **FAX** 0880-82-0429 以下にご記入の上 FAXしてください

お名前	
連絡先(携帯など)	
所属	

- **フォーム**

